

1. 件 名：新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（東海第二（970））
2. 日 時：平成30年5月22日 10時00分～12時05分
14時00分～18時05分

3. 場 所：原子力規制庁 8階A会議室

4. 出席者

原子力規制庁：

（新基準適合性審査チーム）

川崎安全管理調査官、義崎管理官補佐、吉村上席安全審査官、千明主任安全審査官、津金主任安全審査官、正岡主任安全審査官、田尻安全審査官、日南川安全審査官、関根技術研究調査官、矢野審査チーム員、竹内技術参与、堀野技術参与、山浦技術参与

事業者：

日本原子力発電株式会社：発電管理室 室長代理 他24名

東北電力株式会社：原子力部（原子力業務） 副長 他3名

東京電力ホールディングス株式会社：原子力設備管理部 設備計画グループ 他3名

中部電力株式会社：原子力部 設備設計グループ 主任 他2名

北陸電力株式会社：志賀原子力発電所 保修部 保修計画課 主任 他2名

中国電力株式会社：電源事業本部（電気設計） 担当 他2名

電源開発株式会社：原子力技術部 設備技術室 担当 他3名

5. 要旨

（1）日本原子力発電から、5月17日及び本日の提出資料に基づき、東海第二発電所の工事計画認可申請に係る説明スケジュール、東海第二発電所の工事計画認可申請書のうち、計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書、非常用炉心冷却設備のポンプの有効吸込水頭に関する説明書、要目表及び基本方針等について説明があった。

（2）原子力規制庁から主に以下の点について指摘を行った。

【計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書関係】

- 原子炉水位（SA燃料域）の温度補正については、大気圧時の飽和水温度を用いているが、SA環境条件（補正温度より温度が高い場合）に対する水位への影響を整理して提示すること。
- 格納容器下部水位計（2.25m及び2.75m）を格納している収納箱について、水位検知に必要な機能を整理して提示するとともに、ペDESTAL外側壁面との構造を明確にすること。
- 以前から指摘しているが、格納容器内雰囲気ガスサンプリング装置の環境試験の結果等について、早急に入手し資料に反映して提示すること。

【非常用炉心冷却設備のポンプの有効吸込水頭に関する説明書関係】

- 試験条件や試験手順などについて、内規、先行炉実績、NUREGなどの根拠を整理して提示すること。

(3) 日本原子力発電から、本日の指摘等について了解した旨の回答があった。

6. その他

提出資料：

- ・ 工事計画に係る補足説明資料 工事計画に係る説明資料（計測制御系統施設）のうち 計測装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書 補足-240-1【計測装置の構成並びに計測範囲及び警報動作範囲について】
- ・ 東海第二発電所 工認ヒアリング 年間説明スケジュール表（案）
- ・ ブローアウトパネル閉止装置 加振試験スケジュール（案）
- ・ 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書
- ・ 工事計画に係る補足説明資料 工事計画に係る説明資料（核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設）のうち 使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを感知する装置の構成に関する説明書並びに計測範囲及び警報動作範囲に関する説明書 補足-170-1【使用済燃料貯蔵槽の温度、水位及び漏えいを監視する装置の構成並びに計測範囲及び警報動作範囲について】
- ・ 原子炉圧力容器の脆性破壊防止に関する説明書
- ・ 東海第二発電所 原子炉圧力容器の脆性破壊防止に関する説明書に係る補足説明資料 原子炉圧力容器の中性子照射脆化に関する評価の詳細について
- ・ 東海第二発電所 工事計画に係る説明資料（V-1-1-2-2 津波への配慮に関する説明書）
- ・ 入力津波の設定
- ・ 津波への配慮が必要な施設の強度計算の方針
- ・ 重大事故等時における非常用炉心冷却系ストレーナの異物付着による圧損上昇評価
- ・ 非常用炉心冷却系ストレーナの重大事故等時圧損試験要領について
- ・ 工事計画添付書類に係る補足説明資料 圧力低減設備その他の安全設備のポンプの有効吸込水頭について